

買い物客（右端）にカボチャのスープを勧める中村さん（右から2人目）たち生徒



高校生考案スープいかが

進徳女子中村さん 時短や栄養工夫

広島市南区の進徳女子高食育デザイン科2年の中村咲紀さん(17)が考案したカボチャのスープが商品化され、4日、市内のスーパで販売が始まった。時短と栄養バランス、おいしさを兼ね備えた一品。初日は計40食が売れた。

この日は中村さんたち2年生9人がフレスタ宇品店(同区)と横川店(西区)で販売。

ゼラチンで固めたカボチャスープを器に入れて、下ゆでしたブロッコリーを説明しながら買い物客に試食を勧めた。中村さんは「忙しい人が簡単に栄養が取れるようにした。幅広い世代の人に食べてもらいたい」と語る。

1パック322円。
今月下旬まで県内のフレスタ60店舗で計5千食を販売する。

(新山京子)